

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会  
佐賀県競技力向上推進本部

第 8 回本部会議



平成 3 1 年 3 月 2 6 日 (火)  
佐賀県スポーツ会館 2 階 中会議室



# 報告事項

- ( 1 ) SAGA スポーツピラミッド ( SSP ) 構想について・・・P 1~P 5
- ( 2 ) 専決事項について・・・・・・P 6
- ( 3 ) 佐賀県競技力向上推進本部会議等の開催状況について・・・P 7
- ( 4 ) 第 9 回、第 1 0 回及び第 1 1 回国スポ選手強化対策委員会について  
・・・・・・・・P 8~P 9
- ( 5 ) 第 7 回及び第 8 回障害者スポーツ普及委員会について  
・・・・・・・・P 10~P 11
- ( 6 ) 第 7 3 回国民体育大会・第 1 8 回全国障害者スポーツ大会結果について  
・・・・・・・・別冊

# SSP(SAGAスポーツピラミッド)構想 に基づく平成31年度事業



## 佐賀県スポーツ課

1

### 佐賀県は、SSP構想を推進しています

2018～

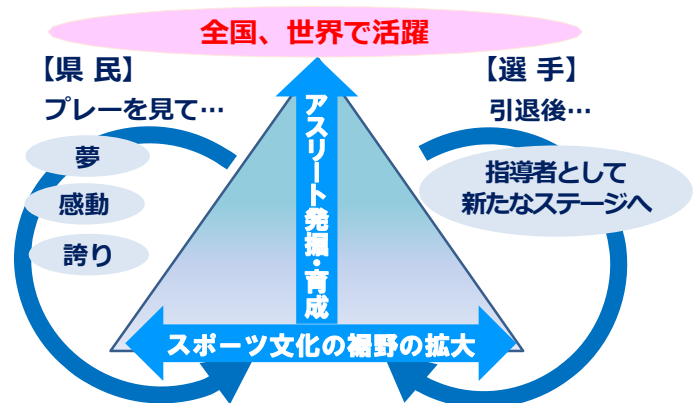
世界に挑戦する佐賀ゆかりのトップアスリートの育成、活躍、転進を通じて、スポーツ文化(する、育てる、観る、支える)の裾野が拡大し、さらなるトップアスリートの育成につながる好循環を確立

#### 短期目標

- ① 2023年佐賀国民スポーツ大会において、佐賀に競技力が根付く戦い方で天皇杯獲得
- ② 2024年パリオリ・パラにおいて、佐賀ゆかりのトップアスリートが10人出場

#### 長期目標

佐賀に根付く新しいスポーツ文化の確立  
(一人一人の満足感、物語、未来へのプレゼント)



※2023年国スポ後も続く、人材育成を中心としたソフトパワー中心の中長期的な取組を推進



## SSP構想推進本部を設置、行政・教育・スポーツ・経済界等が連携

### ○本部構成員

【県庁内】副島副知事（本部長）、教育長、総務部長、文化・スポーツ交流局長、健康福祉部長、産業労働部長

【県庁外】鳥栖市長（市長会代表）、江北町長（町村会代表）、佐賀県体育協会理事長、佐賀県障がい者スポーツ協会会長  
佐賀県商工会議所連合会会長、佐賀県商工会連合会会長、佐賀県医師会常任理事、佐賀県私立中学高等学校協会会長



○ 本部会議には、山口知事、池田副知事も出席

○ 本部会議のあらまし

第1回本部会議（2018年5月11日） 意見交換

**第2回本部会議（2018年9月3日） SSP構想基本方針を決定**

- 3 -



## SSP構想基本方針(重点3分野)

2018年9月3日推進本部決定



### スポーツエリートアカデミー-SAGA(SEAS)を核にした人材育成

2018～ スタート

- ・ 競技ごとに県内指導者と県外指導者によるチームを編成、競技力向上を長期継続的に実施
- ・ 世界・国内のトップを目指すトップアスリート（候補）に対して、指導者と相談し、個別伴走型支援（育成費支援+α）
- ・ 指導者も育つ仕組みの構築や、スポーツインテグリティ（倫理観）を身に着けた真の人材育成
- ・ スポーツ医科学の拠点機能を確立し、大学・スポーツ関連企業・国内外の育成機関と連携した育成・支援体制構築



### 佐賀で練習に打ち込むことができる練習環境の充実

2019～ 順次充実

- ・ 県とスポーツ施設の設置者、競技団体が協議し、競技力向上に役立つ練習環境を充実
- ・ 県内中高に進学する中高生を対象とする寮の在り方の検討、施設を有効活用した宿泊・強化練習等の実現



### アスリート・指導者の佐賀定着に向けた就職支援

2019～ スタート

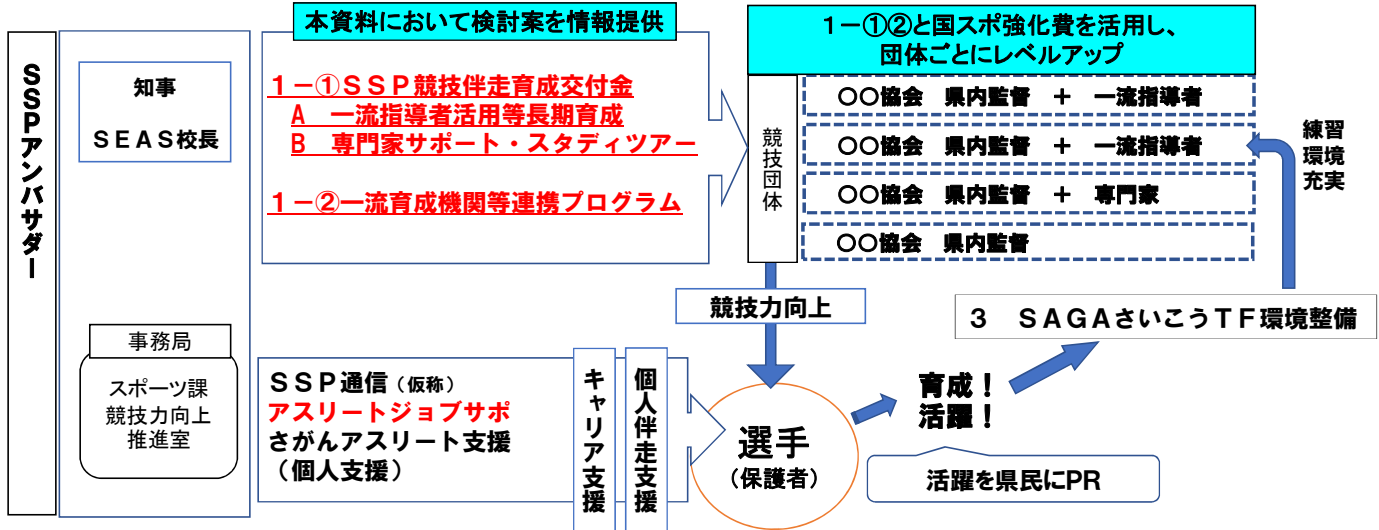
- ・ Uターン等県内定着を希望するアスリート（オリパラ、国スポ級）・指導者に対して、県が個別に就職支援
- ・ 先行事例を分析、県と民間で雇用・支援方法を個別調整し、国内で活躍できるトップチームを育成

- 4 -



## スポーツエリートアカデミー-SAGA(SEAS)運営イメージ

### 4つのコンセプト



7

## SSP競技伴走育成交付金

### 目的

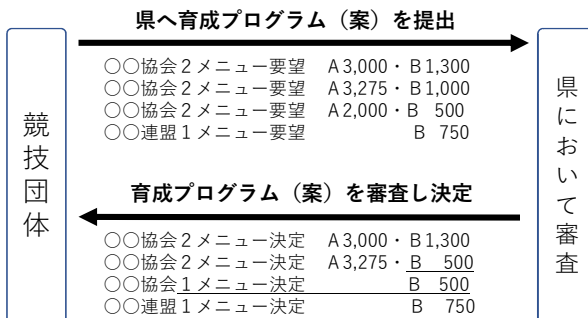
SSP構想基本方針では、競技ごとにチームを編成し、競技力向上を長期継続的に実施することや、指導者も育つ仕組みの構築を定めている。これらを効果的かつ現場に根付いた形で実施するため、県がSSP構想基本方針を踏まえた支援メニューを示し、各団体は支援メニューを参考に育成プログラムを定め、県と団体が協働した形で進める。  
各団体が定め、県が承認した育成プログラムに対する費用を県が負担するため、SSP競技伴走育成交付金を創設。

### 交付金メニュー

メニュー	1団体あたり 上限予定額
<b>A 一流指導者等活用長期育成プログラム</b>	<b>3,275千円</b>
<b>B 専門サポート活用・スタディツアープログラム</b>	<b>1,300千円</b>

- 育成プログラム実施に必要な額を上限額の範囲内で交付
- 団体においてA・B区分間の流用は不可

### スキーム



#### ≪審査ポイント≫

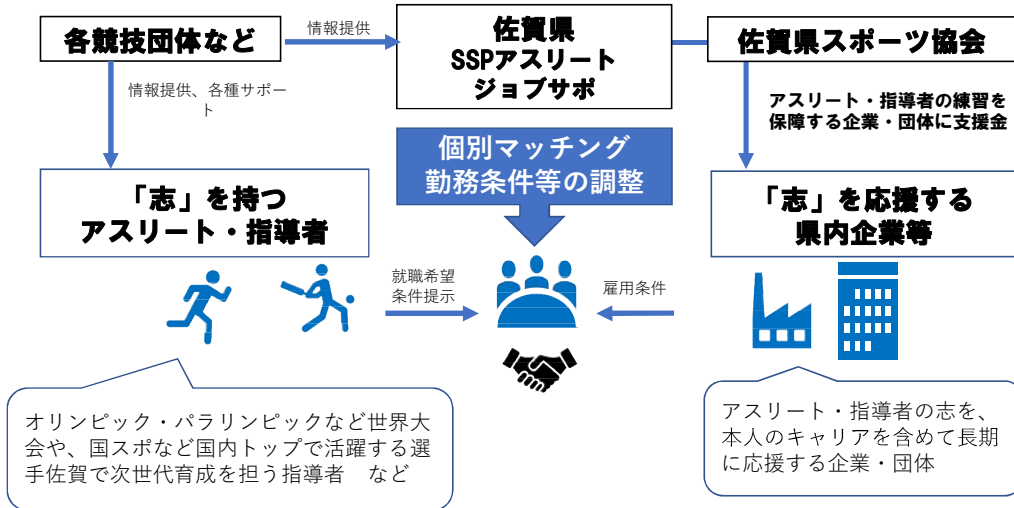
- メニューに沿った事業内容かどうか
  - ・一流指導者・専門家の指導水準、指導頻度
  - ・スタディツアー派遣先の妥当性
  - ・佐賀に競技力が根付くような内容となっているか
- 団体におけるガバナンス
  - ・育成事業を遂行できる体制が整っているかどうか
  - ・長期的な選手育成方針が明確になっているかどうか

※審査の結果、指導者の水準・頻度等課題がある場合、左図のように要望どおりの決定とはならない

8

## SSPアスリートジョブサポによるアスリート・指導者の就職支援

- SSPアスリートジョブサポが、**アスリートと企業・団体の「志」をつなぎます**
- スポンサー募集ではなく、「社員」として、**アスリート・指導者を紹介します**
- 「勤務」と「練習」の両立が図れるよう、県が仲介し、個別マッチングを進めます



## SSP基金について

### 趣旨

SSP構想の志に賛同する幅広い関係者の協力のもと、長期かつ安定的に推進するため、**佐賀県体育協会に基金を設置する**

### 概要

- 県補助＋佐賀県が取り組むスポーツ振興に賛同する企業、団体、個人の寄附を原資とする。
- **県体協に基金管理委員会(委員長:民間人、委員長代行:県職員)を設置し、基金管理・配分を委員会の協議を経て、佐賀県体育協会が行う。**

### 基金充当事業

- 人材育成 (民間寄附金活用)
- 練習環境充実 (民間寄附金活用)
- 就職支援 (H31年度県補助金6億円、佐賀国スポに向けたアスリート雇用企業への助成を実施)

※SSP構想推進に向けた重点3分野



## 平成30年度補正収支予算

【H31.1.18付専決処分】

## 1 収入

(単位:千円)

科目	現計予算額	補正額	補正後予算額	備考
負担金	334,987	△ 22,246	312,741	佐賀県負担金
繰越金	12,433	0	12,433	H29繰越金
雑収入	1	0	1	利息収入等
計	347,421	△ 22,246	325,175	

## 2 支出

(単位:千円)

大科目	小科目	事業名	現計予算額	補正額	補正後予算額
国民体育大会	事業費		340,585	△ 19,976	320,609
			334,440	△ 19,976	314,464
		選手育成費	175,600	△ 5,912	169,688
		運動部活動等設立支援費	7,700	△ 5,820	1,880
		選手支援費	14,440	1,040	15,480
		強化指定選手認定費	7,246	△ 2,648	4,598
		ターゲットエイジ選手発掘費	2,050	△ 481	1,569
		トライアウト開催費	3,163	△ 811	2,352
		強化拠点校支援費	39,000	4,300	43,300
		強化拠点地域支援費	10,200	△ 600	9,600
		佐賀県中学校体育連盟支援費	12,765	△ 1,765	11,000
		指導者招聘費	21,364	2,484	23,848
		指導者研修費	14,936	△ 5,461	9,475
		スポーツアドバイザー配置費	6,985	△ 3,464	3,521
		スタッフ育成費	3,778	△ 838	2,940
	競技用具等購入費	15,213	0	15,213	
	事務局費	6,145	0	6,145	
全国障害者 スポーツ大会	事業費		6,836	△ 2,270	4,566
			6,327	△ 1,993	4,334
		団体競技選手発掘・育成・強化費	2,338	△ 304	2,034
		団体競技チーム活動支援費	603	△ 34	569
		指導者育成費	445	△ 344	101
	チーム立上げ支援費	2,941	△ 1,311	1,630	
	事務局費	509	△ 277	232	
	計	347,421	△ 22,246	325,175	

報告事項(3)

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会  
佐賀県競技力向上推進本部 会議等開催状況

年度	月・日	内 容
H30	6月29日	国民体育大会・全国障害者スポーツ大会佐賀県競技力向上推進本部「第7回本部会議」を開催
		(7月18日 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会佐賀県競技力向上推進本部に名称変更)
	8月6日	佐賀県強化拠点校等設置検討専門委員会「第7回専門委員会」を開催
	9月21日	「第9回国スポ選手強化対策委員会」を開催
	11月27日	「第10回国スポ選手強化対策委員会」を開催
	10月24日	「第7回障害者スポーツ普及委員会」を開催
	1月29日	佐賀県強化拠点校等設置検討専門委員会「第8回専門委員会」を開催
	2月7日	「第11回国スポ選手強化対策委員会」を開催
	2月7日	「第8回障害者スポーツ普及委員会」を開催
	3月26日	国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会佐賀県競技力向上推進本部「第8回本部会議」を開催

## 第9回(H30.9.21) 国スポ選手強化対策委員会 概要

### 協議事項

- (1) 佐賀国スポ選手育成事業費補助金の算定基準(案)について
  - ・強化計画の評価について、どのように評価するのかという意見があり、明確な評価方法を提示できるよう検討し再提案させていただきたいと、事務局より回答。
  
- (2) 平成30年度事業計画(案)について
  - ・特に意見等なし。

## 第10回(H30.11.27) 国スポ選手強化対策委員会 概要

### 協議事項

- (1) 佐賀国スポ選手育成事業費補助金の算定基準(案)について
  - ・第9回委員会時に意見があった強化計画の評価方法及び前回から変更になった基準内容などについて、事務局より説明。  
特に意見等なし。
  
- (2) 佐賀県強化企業チーム支援事業実施要領(案)について
  - ・成年選手の雇用を含めた選手獲得についての意見があり、この事業の主たる目的は強化活動への支援による成年種別選手の競技力向上であることを事務局より説明。
  
- (3) 平成30年度事業計画(案)について
  - ・スポーツアドバイザー配置事業の段階的な活用についての意見があり、該当指導者の実績等を確認しながら検討していくことを、事務局より回答。

## 第11回(H31.2.7)国スポ選手強化対策委員会 概要

### 審議事項

- (1)平成31年度佐賀県強化拠点校の設置(案)について
- ・競技団体によっては、中学生の強化方針に変化が出てきていることで、中学校の拠点校は32年度から学校指定ではないとしてはどうかという意見があり、31年度までは1年ごとの見直しで32年度からは絞り込みをかけていく形になるが、学校単位あるいはクラブチーム、または競技団体で選抜しての強化等、どうい方法がよいか各競技団体とも協議すると、事務局より説明。
  - ・平成31年度佐賀県強化拠点校の設置(案)については、本部会議の原案として了承。
- (2)平成31年度佐賀県強化拠点地域の設置(案)について
- ・拠点地域(クラブチーム)に係る関係競技団体との協議を踏まえた事務局(案)について、事務局より説明。
  - ・特に意見なし。
  - ・平成31年度佐賀県強化拠点地域の設置(案)については、本部会議の原案として了承。
- (3)平成31年度佐賀県強化企業チームの設置(案)について
- ・「当該企業チーム所属の者が1/2以上いること」という選定条件に対して、エントリー数が多い競技にも柔軟に対応できるよう、「所属者数が1/3以上」など条件を緩和してはどうかという意見があり、実業団登録の要件などを参考として、一定の線を引くとなるとチームの半数がその企業チームに所属しているべきであるということと、1/2以上としていると、事務局より説明。
  - ・平成31年度佐賀県強化企業チームの設置(案)については、本部会議の原案として了承。
- (4)平成31年度事業計画(案)について
- ・各事業の予算要求額、新算定基準に基づく各競技団体補助金の要求額及び参考事業(県事業)について、事務局より説明
  - ・特に意見等なし。
  - ・平成31年度事業計画(案)については、予算要求額についても審議し、本部会議の原案として了承。

## 第7回(H30.10.24)障害者スポーツ普及委員会 概要

### 協議事項

#### (1)平成31年度事業計画(案)についての意見

- ・強化指定選手の認定について、認定後の流れはどうなるのかという意見があり、認定後は認定証とTシャツを配付する予定で、指定選手という意識をもって各教室等に参加していただきたいと考えていると事務局で回答。また、関連で誰が何をもって認定するのかという意見があり、詳細な選手の決め方は色々な選択肢の中から検討すると回答。

#### (2)その他の意見

- ・第23回全国障害者スポーツ大会に向けた指導者の育成等、他の課が担当する事業や予算についても、資料があった方がよい。全体としてどう動いているかを知っておきたい。
- ・車いすバスケットボールの選手は、若い選手の発掘・育成が必要なので、興味のある選手がいれば紹介してほしい。

## 第8回(H31.2.7)障害者スポーツ普及委員会 概要

### 審議事項

#### (1)平成31年度事業計画(案)についての意見

- ・個人競技の活動費の支援する対象はどのようなものかという意見があり、ある程度人数がそろって、指導者がついているクラブを想定しており、支援の希望が予算を超える場合は、内容を見て支援するクラブを判断すると事務局で回答。
- ・広報活動事業の広報内容について意見があり、佐賀大会の選手募集に係る広報を中心に、来年度予定されているスローガンやキャラクターを使用して、全障スポのPRも行っていくと事務局で回答。
- ・個人競技スポーツ教室と現在佐賀県障がい者スポーツ協会に委託している障害者スポーツ教室の意味合いについて質問があり、委託している教室に追加するのではなく、年間の教室回数を増やさず、3回分を推進本部の教室として開催し、普及の意味より強化に力を入れた事業展開を図っていくと事務局で回答。佐賀県障がい者スポーツ協会からは他県では中級、上級など教室を能力別に分けている例もあり、実施方法については、今後検討をしていくと意見があった。
- ・平成31年度事業計画(案)については予算(案)についても審議し、本部会議の原案として了承。

( 2 ) その他の意見

- ・今後、佐賀大会は個人競技も選手を集めなければならないので、団体競技の選手を個人競技に転向することも考えていかなければならないのではないか。
- ・初級障がい者スポーツ指導員の中には、スポーツに何らかの関わりがある人が多く、来年度の教室に指導員の方々が関わっていく仕組みができないか。また、審判講習会や競技別の指導者講習会などの場を作っていたきたい。
- ・中級障がい者スポーツ指導員養成講習会を受ける方々にも支援の幅を広げることはいできないか。

# 審議事項

- 第1号議案** 平成31年度佐賀県強化拠点校の設置（案）について・・・P 13～P17
- 第2号議案** 平成31年度佐賀県強化拠点地域の設置（案）について・・・P 18
- 第3号議案** 佐賀県強化企業チーム支援事業実施要領（案）について・・・P 19
- 第4号議案** 平成31年度佐賀県強化企業チームの設置（案）について  
・・・P 20
- 第5号議案** 平成31年度事業計画（案）について・・・P 21～P 23
- 第6号議案** 平成31年度収支予算（案）について・・・P 24

# 第1号議案 平成31年度佐賀県強化拠点校の設置(案)について

※ 網掛けは新規(区分変更含む)

H30 高等学校 [指定校]34校100運動部(31競技)  
 [推進校]22校41運動部(16競技)  
 中学校 [指定校]26校42運動部(12競技)



H31高等学校 [指定校]33校98運動部(31競技)  
 [推進校]23校39運動部(13競技)  
 中学校 [指定校]24校41運動部(12競技)

※ 網掛けは、新規(区分変更含む)

【 競技別 】

NO	競技	種目	高等学校						中学校		
			指定校			推進校			指定校		
			NO	性別	校名	NO	性別	校名	NO	性別	校名
1	水泳	競泳	1	男	佐賀商業	1	男	唐津商業			
			2		佐賀学園	2	女				
			3	女	佐賀商業						
			4		佐賀学園						
		飛込	5	女	致遠館						
		水球	6	男	佐賀東						
			7	女							
2	ボート	男	8		唐津東						
			9		唐津西						
		女	10		唐津東						
			11		唐津西						
3	セーリング	男	12		唐津西						
			13		唐津工業						
		女	14		唐津西						
		15		唐津東							
4	陸上	男	16		佐賀工業	3	男	伊万里商業・伊万里農林・伊万里実業	1	男	有明
			17		鳥栖工業	4		武雄	2	男	基山
			18	女	佐賀北	5		佐賀北	3	女	鳥栖
		19		佐賀清和	6	女	鳥栖商業	4	女	塩田	
					7		伊万里				
					8		鹿島・新鹿島				
					9		佐賀商業(指→推)				
5	サッカー	20	男	佐賀東							
		21		佐賀商業(推→指)							
		22	女	神埼							
6	テニス	23	男	敬徳				5	男	致遠館	
		24	女	鳥栖商業				6	女		
		25		佐賀商業							
7	ホッケー	26	男	伊万里商業・伊万里実業							
		27	女								
8	ボクシング	28	男	高志館							
		29		杵島商業・新白石							
		30	女	高志館							
9	バレーボール	31	男	佐賀商業	10	女	佐賀北	7	男	武雄	
		32		佐賀学園	11		佐賀商業	8	男	啓成	
		33	女	佐賀清和	12		鹿島実業・新鹿島	9	女	多良	
		34		鳥栖商業				10	女	川副	
								11	女	鹿島東部	
					12		神埼				
10	体操	競技	35	男	鳥栖工業				13	男	鳥栖
			36	女	鳥栖				14	女	鳥栖
		新体操	37	女	佐賀女子	13	女	佐賀清和			
			38		佐賀北	14	女	牛津			
11	バスケットボール	男	39		佐賀北	15	男	鳥栖工業	16	女	昭栄
			40		佐賀東	16	唐津東	17	城西		
		女	41		佐賀北	17	佐賀東	18	鍋島		
			42		佐賀清和	18	佐賀商業	19	城北		



NO	競技	種目	高等学校						中学校		
			指定校			推進校			指定校		
			NO	性別	校名	NO	性別	校名	NO	性別	校名
12	レスリング	43	男	鳥栖工業							
		44	男	鹿島実業・新鹿島							
13	ウエイトリフティング	45	男	有田工業							
		46	女								
14	ハートボール	47	男	佐賀清和	19	男	神埼	20	男	神埼	
		48	男	神埼清明	20	男	佐賀農業	21	男	東原席舎中央校	
		49	男	神埼清明	21	女	佐賀農業	22	女	神埼	
		50	女	佐賀女子(推→指)				23	女	東原席舎中央校	
		51	女	佐賀清和							
15	自転車	52	男	龍谷							
16	ソフトテニス	53	男	塩田工業・新嬉野	22	男	鹿島・新鹿島	24	男	塩田	
		54	男	佐賀工業				25	女	小城	
		55	女	佐賀清和							
		56	女	嬉野・新嬉野							
17	卓球	57	男	北陵	23	男	佐賀商業				
		58	男	敬徳							
		59	女	佐賀商業							
		60	女	敬徳							
18	相撲	61	男	多久							
19	柔道	62	男	佐賀商業	24	男	佐賀北	26	男	有田	
		63	男	佐賀工業	25	男	龍谷	27	男	三日月	
		64	女	佐賀工業(推→指)	26	女	鳥栖工業	28	女	昭栄	
		65	女	佐賀商業	27	女	佐賀農業	29	女	有田	
		66	女	小城	28	女	北陵	30	女	武雄	
		67	男	牛津				31	女	大和	
20	ソフトボール	68	女	佐賀女子							
		69	女	鹿島実業・鹿島・新鹿島							
		70	男	佐賀商業							
21	フェンシング	71	女	佐賀商業							
		72	男	唐津南							
22	バドミントン	73	女	佐賀女子							
		74	男	佐賀学園							
24	剣道	75	男	龍谷	29	男	佐賀学園	32	男	三瀬	
		76	男	敬徳	30	男	白石・新白石	33	男	北茂安	
		77	男	三養基	31	男	佐賀商業	34	男	三瀬	
		78	女	白石・新白石	32	女	敬徳	35	女	大和	
		79	女	三養基	33	女	佐賀北	36	女	龍谷	
25	ラグビーフットボール	80	男	佐賀工業				37	男	川副	
		81	女								
26	山岳	82	男	多久	34	男	鳥栖工業				
		83	男	佐賀工業							
		84	女	多久							
27	空手道	85	男	佐賀東	35	男	佐賀西	38	男	神埼	
		86	男	龍谷	36	男	唐津東(指→推)	39	男	田代	
		87	女	佐賀北	37	女	佐賀東	40	女	神埼	
		88	女	佐賀女子	38	女	唐津東	41	女	田代	
28	アーチェリー	89	男	高志館							
		90	男	厳木							
		91	女	高志館							
		92	女	厳木							
29	カヌー	93	男	神埼	39	男	伊万里農林・伊万里実業				
		94	男	鳥栖工業							
30	なぎなた	95	女	佐賀東							
		96	女	牛津							
31	ゴルフ	97	男	敬徳							
		98	女								

【 学校別:高等学校 】

NO	校名	指定校					推進校				
		校数	NO	性別	競技	種目	校数	NO	性別	競技	種目
1	佐賀東	1	1	男	水泳	水球	1	1	女	バスケットボール	
			2	女				2	女	空手道	
			3	男	サッカー						
			4	男	バスケットボール						
			5	男	空手道						
			6	女	なぎなた						
2	佐賀西					2	3	男	空手道		
3	佐賀北	2	7	女	陸上		3	4	男	柔道	
			8	女	体操	新体操		5	女	剣道	
			9	男	バスケットボール			6	女	バレーボール	
			10	女		7		男	陸上		
			11	女	空手道						
4	致遠館	3	12	女	水泳	飛込					
5	唐津東	4	13	男	ボート		4	8	男	バスケットボール	
			14	女		9		女	空手道		
			15	女	セーリング	10		男	空手道(指→推)		
6	唐津西	5	16	男	ボート						
			17	女							
			18	男	セーリング						
			19	女							
7	鳥栖	6	20	女	体操	競技					
8	伊万里					5	11	女	陸上		
9	武雄					6	12	男	陸上		
10	鹿島						7	13	女	陸上(新鹿島と合同)	
						14		男	ソフトテニス(新鹿島と合同)		
11	神埼	7	21	女	サッカー		8	15	男	ハンドボール	
			22	男	カヌー						
12	三養基	8	23	女	剣道						
			24	男	剣道						
13	小城	9	25	女	柔道						
14	巖木	10	26	男	アーチェリー						
			27	女							
15	白石	11	28	女	剣道(新白石と合同)		9	16	男	剣道(新白石と合同)	
16	唐津南	12	29	男	バドミントン						
17	伊万里農林						10	17	男	カヌー(伊万里実業と合同)	
18	高志館	13	30	男	ボクシング						
			31	女							
			32	男	アーチェリー						
			33	女							
19	佐賀農業						11	18	男	ハンドボール	
						19		女			
									20	女	柔道
20	佐賀工業	14	34	男	陸上						
			35	男	ソフトテニス						
			36	男	柔道						
			37	女	柔道(推→指)						
			38	男	ラグビーフットボール						
			39	女							
40	男	山岳									
21	唐津工業	15	41	男	セーリング						
22	鳥栖工業	16	42	男	陸上		12	21	男	バスケットボール	
			43	男	体操	競技		22	男	柔道	
			44	男	レスリング			23	男	山岳	
			45	男	カヌー						

【 学校別:高等学校 】

NO	校名	指定校				推進校					
		校数	NO	性別	競技	種目	校数	NO	性別	競技	種目
23	有田工業	17	46	男	ウエイトリフティング						
			47	女							
24	塩田工業	18	48	男	ソフトテニス(新嬉野と合同)						
25	佐賀商業	19	49	男	水泳	競泳	13	24	女	バスケットボール	
			50	女							
			51	男	サッカー(推→指)			26	女	バレーボール	
			52	女	テニス	27		女	剣道		
			53	男	バレーボール	28		女	陸上(指→推)		
			54	女	卓球						
			55	男	柔道						
			56	女							
			57	男	フェンシング						
			58	女							
26	唐津商業					14	29	男	水泳	競泳	
							30	女			
27	鳥栖商業	20	59	女	テニス	15	31	女	陸上		
			60	女	バレーボール						
28	伊万里商業	21	61	男	ホッケー(伊万里実業と合同)	16	32	男	陸上(伊万里農林・伊万里実業と合同)		
			62	女							
29	杵島商業	22	63	男	ホッケー(新白石と合同)						
30	鹿島実業	23	64	男	レスリング(新鹿島と合同)	17	33	女	バレーボール(新鹿島と合同)		
			65	女	ソフトボール(鹿島・新鹿島と合同)						
31	牛津	24	66	男	ソフトボール	18	34	女	体操	新体操	
			67	女	なぎなた						
32	神埼清明	25	68	男	ハンドボール						
			69	女							
33	多久	26	70	男	相撲						
			71	男	山岳						
			72	女							
34	嬉野	27	73	女	ソフトテニス(新嬉野と合同)						
35	龍谷	28	74	男	自転車	19	35	男	柔道		
			75	男	剣道						
			76	男	空手道						
36	佐賀清和	29	77	女	陸上	20	36	女	体操	新体操	
			78	女	バレーボール						
			79	女	バスケットボール						
			80	男	ハンドボール						
			81	女	ソフトテニス						
			82	女	ハンドボール						
37	佐賀女子	30	83	女	体操						
			84	女	ハンドボール(推→指)						
			85	女	ソフトボール						
			86	女	バドミントン						
			87	女	空手道						
38	佐賀学園	31	88	男	水泳	競泳	21	37	男	剣道	
			89	女							
			90	男	バレーボール						
			91	男	ライフル射撃						
39	北陵	32	92	男	卓球	22	38	女	柔道		
40	敬徳	33	93	男	テニス	23	39	女	剣道		
			94	男	卓球						
			95	女							
			96	男	剣道						
			97	男	ゴルフ						
			98	女							

## 【 学校別:中学校 】

NO	校名	指定校			
		NO	性別	競技	種目
1	致遠館	1	男	テニス	
		2	女		
2	東原摩舎中央校	3	男	ハンドボール	
		4	女		
3	昭栄	5	女	バスケットボール	
		6	男	柔道	
4	城西	7	女	バスケットボール	
5	城北	8	女	バスケットボール	
6	鍋島	9	女	バスケットボール	
7	川副	10	男	ラグビーフットボール	
		11	女	バレーボール	
8	大和	12	女	ソフトボール	
		13	女	剣道	
9	三瀬	14	男	剣道	
		15	女		
10	鳥栖	16	男	体操	競技
		17	女		
		18	女	陸上	
11	田代	19	女	体操	競技
		20	男	空手道	
		21	女		
12	啓成	22	男	バレーボール	
13	武雄	23	女	柔道	
		24	男	バレーボール	
14	鹿島東部	25	女	バレーボール	
15	多良	26	女	バレーボール	
16	小城	27	女	ソフトテニス	
17	三日月	28	男	柔道	
18	塩田	29	男	ソフトテニス	
		30	女	陸上	
19	神埼	31	女	バレーボール	
		32	男	ハンドボール	
		33	女		
		34	男	空手道	
		35	女		
20	北茂安	36	男	剣道	
21	基山	37	男	陸上	
22	有田	38	男	柔道	
		39	女	柔道	
23	有明	40	男	陸上	
24	龍谷	41	女	剣道	

第2号議案 平成31年度 佐賀県強化拠点地域の設置(案)について

H30拠点地域 20地域



H31拠点地域 24地域

※ 網掛けは新規

NO	競技(種目)名	クラブ名	性別	活動地域
1	水泳(飛込)	佐賀ダイビングクラブ	男・女	佐賀市
2	水泳(水球)	佐賀水球クラブ 葉隠Rex	男	佐賀市
3	サッカー	サガン鳥栖 U-15	男	鳥栖市
4		FCアレグリカミーニョ U-15	女	佐賀市
5	ホッケー	伊万里ホッケークラブ	男・女	伊万里市
6	ボクシング	吉永ボクシングジム	男・女	佐賀市
7	体操(新体操)	かささぎRG	女	佐賀市
8	レスリング	鳥栖レスリングクラブ	男・女	鳥栖市
9		鹿島レスリングクラブ	男・女	鹿島市
10	ウエイトリフティング	佐賀ウエイトリフティングクラブ	男・女	佐賀市
11	自転車	佐賀県競輪選手愛好会	男・女	武雄市
12	相撲	北方相撲クラブ	男	武雄市
13	馬術	チームひがしせふり	男・女	吉野ヶ里町
14	フェンシング	佐賀ジュニアフェンシングクラブ	男・女	佐賀市
15	バドミントン	佐賀サンライズバドミントンクラブ ※	男・女	佐賀市
16	バドミントン	BSM	男・女	唐津市
17	ラグビーフットボール	佐賀ウイメンズラグビーフットボールクラブ	女	佐賀市
18	山岳	佐賀ユースクライミングクラブ	男・女	多久市
19	銃剣道	大河塾	男	大町町
20	アーチェリー	佐賀ジュニアアーチェリークラブ	男・女	佐賀市
21		唐津ジュニアアーチェリークラブ	男	唐津市
22	カヌー	神埼ジュニアカヌークラブ	男	神崎市
23	なぎなた	嬉野なぎなたクラブ	女	嬉野市
24		佐賀東ジュニアなぎなたクラブ	女	佐賀市

※ H30年度指定のバドミントン競技「YBS」から、H31年度は佐賀サンライズバドミントンクラブへの推薦変更

## 1 目的

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会佐賀県競技力向上推進本部（以下「推進本部」という。）は、第78回国民スポーツ大会において、県民の期待に応え、佐賀らしい戦い方で開催県としてふさわしい成績を収めるとともに、大会終了後も安定した競技力が維持されることを目指して、「佐賀県競技力向上基本計画 Ver.1.0」第3章-2-(2)-アに基づき強化企業チームを指定し、企業に所属するチームや選手が国民体育大会・国民スポーツ大会に出場するための強化活動を支援することで、成年種別選手の競技力向上を図る。

## 2 強化企業チームに対する支援

項目	内容	
強化費の交付	交付先	国民体育大会・国民スポーツ大会の正式競技に参加するために活動している企業チーム。
	対象経費	強化活動に要する経費。
成年種別選手の確保	国民体育大会・国民スポーツ大会（九州ブロック大会を含む）に出場する、優秀な選手を確保できるよう努めていく。	

企業チームとは、強化活動に係る費用を企業が負担しているチームをいう。

## 3 指定期間

指定期間は、原則として平成35年度（2023年度）までとする。なお、国民体育大会・国民スポーツ大会に出場しない場合や「4-(1)(2)」に該当しない場合は短縮することがある。

## 4 選定方法

国民体育大会・国民スポーツ大会の正式競技に取り組んでいる企業チームのうち、当該競技団体の強化を図る意向と合致し、当該競技団体の推薦を受け、次のいずれかの条件を満たす場合に限り、原則として1競技（種別）につき1企業チームを強化企業チームに指定する。なお、新たな強化企業チームの指定は、平成32年度（2020年度）までとする。

- (1) 前年度もしくは当該年度国民体育大会（九州ブロック大会を含む）において、当該競技（種別）にエントリーされている監督・選手のうち、当該企業チーム所属の者が1/2以上いること。
- (2) その他、推進本部が特別に必要と認めるもの。

第4号議案 平成31年度佐賀県強化企業チームの設置(案)について

NO	競技(種目)名	企業チーム名	企業名
1	バレーボール(女子)	久光製薬スプリングス	久光製薬株式会社
2	ハンドボール(男子)	トヨタ紡織九州レッドトルネード	トヨタ紡織九州株式会社
3	ソフトボール(男子)	ダイワアクト	大和産業株式会社
4	バスケットボール(女子)	医療法人ひらまつ病院	医療法人ひらまつ病院
5	軟式野球(男子)	医療法人ひらまつ病院	
6	ソフトボール(女子)	ひらまつ病院SAGA ALL STARS	
7	相撲(男子)	医療法人ひらまつ病院	

## 第5号議案 平成31年度 事業計画(案)について

### 1. 国民体育大会・国民スポーツ大会

#### (1) 会議等の開催

取組	H31 取組内容	H30 実施状況	主催団体
本部会議の開催	競技力向上に係る基本的・総合的な事項の審議・決定を行う。	第7回 6月29日(金) 第8回 3月26日(火)開催	推進本部
国スポ選手強化対策委員会の開催	競技力向上に関する調査・決定を行う。	第9回 9月21日(金) 第10回 11月27日(火) 第11回 2月7日(木)開催	推進本部
専門委員会の開催	国体・国スポの競技力向上に関する事業を実施する。	第7回 8月6日(月) 第8回 1月29日(火)開催	推進本部

#### (2) 佐賀国スポ選手強化事業

取組	H31 取組内容	H30 実施状況	実施時期
選手育成事業	各競技団体が、国体・国スポをはじめとする最高峰の大会において入賞者を輩出するために実施する県内強化練習等に要する経費に対し、補助を行う。	各競技団体における競技力向上事業を実施。	4月～3月
運動部活動等設立支援事業	運動部活動等の設立に要する経費に対して補助し、練習環境を整備することで、少年選手の確保や育成、強化を図る。	平成30年度については、設立部は無し。	必要に応じて
選手支援事業	県外から県内の学校に進学した選手を中心に、特に活躍が期待される選手を指定し、その活動を支援することで、少年選手の競技力向上を図る。(県内選手も考慮)	・43名の高校生、中学生選手に、スポーツ奨学金を交付	4月～3月
SEAS支援対象選手・強化指定選手認定事業	全国レベルや世界レベルで活躍する可能性のある選手をSEASの支援対象選手とし、かつ主力となり得る選手については強化指定選手として認定し、「オール佐賀」としての意識の高揚を図るため、「強化指定選手認定証交付式」を実施する。	7月8日(日)に認定証交付式を開催。870名の指定選手に指定証と認定Tシャツを授与。	6月
ターゲットエイジ選手発掘事業	県内の民間施設とタイアップしたスポーツ体験教室等の開催や、学校等への出前講座を実施し、子供たちにさまざまなスポーツに触れる機会を提供することで、ターゲットエイジ選手の発掘につなげる。	【ボート競技】 ・中学校での模擬体験会を実施。	必要に応じて
トライアウト開催事業	選手の適性(潜在能力)を再発見し、より高い競技パフォーマンスが期待できる競技・種目に転向するための選考会(トライアウト)を実施し、国体・国スポにおける入賞を目指す選手を発掘する。	・9月2日(日)第1ステージ、小・中学生58名が参加。 ・9月8日(土)～12月2日(日)第2ステージ、小・中学生延べ18名が参加	9月～12月
強化拠点校支援事業	国体・国スポにおける総合成績を高めていくためには、少年種別の競技力向上が不可欠であるため、現状又は将来性を分析した各競技団体の推薦に基づき、強化の拠点となる高校及び中学校を指定し、その強化活動を支援することで、ジュニア層のレベルアップを図る。	高等学校 指定校 34校100運動部(31競技) 推進校 22校41運動部(16競技) 中学校 指定校 26校42運動部(12競技) 指定校運動部に活動支援費を交付。	4月～3月
強化拠点地域支援事業	中学校に運動部活動がない競技(種目)で、クラブチームを有する地域のうち、その競技が地域に根付き強化の拠点となっている地域(クラブチーム)を指定し、その強化活動を支援することで、ジュニア層のレベルアップを図る。	20地域(クラブ)に活動支援費を交付。(競技:水泳、サッカー、ホッケー、体操、レスリング、自転車、馬術、フェンシング、バドミントン、ラグビーフットボール、山岳、アーチェリー、カヌー、なぎなた)	4月～3月
強化企業チーム支援事業【新規事業】	国体・国スポの正式競技に取り組んでいる企業チームのうち、主体的に活動する企業チームを指定し、その強化活動を支援することで、成年選手のレベルアップを図る。	【※H31年度新規事業】	4月～3月
佐賀県中学校体育連盟支援事業	佐賀国スポに向けた選手強化について中学生の育成が重要であることから、県中体連専門部及び各地区の中体連専門部が実施する強化練習会や遠征等に要する経費を補助する。	地区中体連及び中体連専門部に補助金を交付。地区中体連及び中体連専門部において、普及・育成・強化及び指導者の資質向上事業を実施。	4月～3月



(3)佐賀国スポ指導者養成事業

取組	H31 取組内容	H30 実施状況	実施時期
指導者招聘事業	国内外の優れた指導者を招聘し、一定期間又は複数回にわたり、指導者が最新の指導法を学ぶ講習会に要する経費に対し補助を行う。	・各競技団体でトップアドバイザーを招聘。 柔道：吉田秀彦氏・吉村和郎氏 馬術：仁田原志起氏 等	4月～3月
指導者研修事業	有望な指導者を(公財)日本スポーツ協会等が実施する研修会や講習会、又は個別研修に派遣する経費に対し、補助を行う。	・(公財)日本スポーツ協会公認コーチ研修会参加 ・中央競技団体による研修会等参加	4月～3月
スポーツアドバイザー配置事業	指導者の養成及び資質の向上を図るとともに、指導体制を充実させるため、スポーツアドバイザーを配置する。	・剣道競技においてスポーツアドバイザーによる指導を実施。少年層の競技力向上を図り、錬成会等を実施。	4月～3月

(4)佐賀国スポトレーナー等育成事業

取組	H31 取組内容	H30 実施状況	実施時期
スタッフ育成事業	スポーツトレーナー等を(公財)日本スポーツ協会等が実施する専門の研修会や講習会、又は個別研修に派遣する経費等に対し、補助を行う。	・(公財)日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー要請講習会参加 ・第73回国民体育大会帯同トレーナー(21競技)	4月～3月

(5)佐賀国スポ環境整備事業

取組	H31 取組内容	H30 実施状況	実施時期
競技用具等購入事業	競技力向上に資する用具を計画的に整備し、各競技団体の強化活動がより効率的かつ効果的に実施されるよう支援する。	・弓道：遠的スターターキット ・レスリング：レスリングマット ・相撲：相撲マット ・ライフル射撃：ビームピストル ・体操：体操器具 の購入、競技団体への貸付。	必要に応じて

※基本計画に基づく県費対応事業

取組	H31 取組内容	H30 実施状況	実施時期 主催団体
SEA(スポーツ国際交流員)活用事業	CLAIR(自治体国際化協会)のJETプログラム(語学指導等を行う外国青年招致事業)のひとつであるSEA(スポーツ国際交流員)を活用し、佐賀国体に向けての競技力向上を図る。	フィジー共和国よりチヨネ氏を招聘し(H29より)、県内ジュニアラグビーチームを中心に指導を実施。	4月～3月 県機関
スポーツエリートアカデミー事業	○一流指導者等活用長期育成プログラム ・指導実績の高い指導者を、最低2か月に1回佐賀に招聘、選手強化と指導者支援を充実 ○専門家サポート活用・スタディツアープログラム ・動作解析、メンタル、医科学等専門家のサポートを導入、全国大会等の視察による意識付け	○一流指導者長期継続招聘事業 ラグビー、バレーボール男子、レスリング、クレイ射撃、女子新体操 ○スタディツアー 水泳、陸上、ボクシング、レスリング、卓球、トライアスロン	4月～3月 県機関

## 2. 全国障害者スポーツ大会

### (1) 会議等の開催

取組	H31 取組内容	H30 実施状況	主催団体
障害者スポーツ普及委員会の開催	障害者スポーツ普及に関する調査・決定を行う。	第7回 10月24日(水) 第8回 2月7日(木)開催	推進本部
競技団体連絡会の開催	団体競技の普及に関する検討を行う。	第1回 9月26日(水) 第2回 3月14日(木)開催	推進本部

### (2) 全国障害者スポーツ大会選手等育成強化事業

取組	H31 取組内容	H30 実施状況	実施時期
団体競技選手発掘・育成事業	2023年佐賀大会において、団体競技の全競技種目出場を目指し、未普及競技の体験教室等を開催し、競技の普及や選手の発掘等を行い、チーム結成につなげる。	・6競技を3地区で計20回実施。 延べ247名の障害者が参加。	4月～3月
個人競技選手発掘・育成事業【新規】	2023年佐賀大会において、個人競技で多くのメダル獲得を目指し、個人全競技の体験教室等を開催し、競技の普及や選手の発掘等を行う。	【※H31年度新規事業】	4月～3月
団体・個人競技チーム活動支援事業(旧:団体競技チーム活動支援事業)	競技力の向上を図るため、団体・個人競技チームへの活動費の支援を行う。	・団体競技4チームに活動費を補助。	4月～3月
団体競技チーム競技力向上事業【新規】	団体競技の競技力向上を図るため、団体競技の大会を開催する。	【※H31年度新規事業】	2月
育成指定選手の認定事業【新規】	2023年佐賀大会に出場が見込まれる選手を育成指定選手として認定する。	【※H31年度新規事業】	7月
指導者育成事業	初級障がい者スポーツ指導員を養成するため、資格講習会の受講料補助を行う。また、指導力向上を図るため、団体競技の指導者を全国大会へ派遣する。	・平成30年度初級障がい者スポーツ指導員養成講習会受講者18名に受講料を補助。 ・フットベースボールの指導者1名を福井県に派遣。	11月
団体競技普及事業(旧:チーム立上げ支援事業)	団体競技の未普及競技に特別支援学校等で取り組んでもらうため、指導者派遣や競技用具購入の補助を行う。	・特別支援学校8校に用具購入を補助。	4月～3月
広報活動事業【新規】	大会の認知度向上を図り、選手発掘へとつなげるための広報を行う。	【※H31年度新規事業】	6月～3月

## 第6号議案 平成31年度収支予算(案)について

### 1 収入

(単位:千円)

科 目	H31年度 当初予算額	H30年度 現計予算額	比較(H31-H30)	備 考
負担金	372,274	312,741	59,533	佐賀県負担金
繰越金	0	12,433	△ 12,433	繰越金
雑収入	2	1	1	利息収入等
計	372,276	325,175	47,101	

### 2 支出

(単位:千円)

大科目	小科目	H31年度 当初予算額	H30年度 現計予算額	比較(H31-H30)	備 考
国民体育大会・ 国民スポーツ大会	事業費	365,926	320,609	45,317	
		182,111	169,688	12,423	選手育成費
		7,000	1,880	5,120	運動部活動等設立支援費
		18,000	15,480	2,520	選手支援費(奨学金)
		6,830	4,598	2,232	強化指定選手認定費
		1,050	1,569	△ 519	ターゲットエイジ選手発掘費
		3,692	2,352	1,340	トライアウト開催費
		48,800	43,300	5,500	強化拠点校支援費
		12,500	9,600	2,900	強化拠点地域支援費
		4,500	-	4,500	強化企業チーム支援費【新規】
		11,000	11,000	0	佐賀県中学校体育連盟支援費
		23,120	24,127	△ 1,007	指導者招聘費
		15,714	9,196	6,518	指導者研修費
		7,004	3,521	3,483	スポーツアドバイザー配置費
		4,104	2,940	1,164	スタッフ育成費
	15,119	15,213	△ 94	競技用具等購入費	
	事務局費	5,382	6,145	△ 763	本部会議、国スポ選手強化対策委員会、各種専門委員会開催経費等
全国障害者 スポーツ大会	事業費	6,350	4,566	1,784	
		581	2,034	△ 1,453	団体競技選手発掘・育成費
		1,073	-	1,073	個人競技選手発掘・育成費【新規】
		1,506	569	937	団体・個人競技チーム活動支援費
		911	-	911	団体競技チーム競技力向上費【新規】
		357	-	357	育成指定選手の認定費【新規】
		161	101	60	指導者育成費
		1,184	1,630	△ 446	団体競技普及費
	120	-	120	広報活動費【新規】	
	事務局費	457	232	225	障害者スポーツ普及委員会開催経費等
計		372,276	325,175	47,101	



# 参考資料

佐賀県強化拠点校活動支援事業実施要領

選定要領及び決定までのスケジュール・・・P 27～ P 29

佐賀県強化拠点地域活動支援事業実施要領

及び決定までのスケジュール・・・P 30～ P 31

佐賀県強化企業チーム支援事業 決定までのスケジュール・・・P 32

**佐賀県強化拠点校支援事業 実施要領**

**1 目的**

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会佐賀県競技力向上推進本部（以下「推進本部」という。）は、第78回国民スポーツ大会（以下「佐賀国スポ」という。）において、県民の期待に応え、佐賀らしい戦い方で開催県としてふさわしい成績を収めるとともに、大会終了後も安定した競技力が維持されることを目指して、強化の拠点となる中学校及び高等学校を佐賀県強化拠点校（以下「拠点校」という。）に指定し、競技力の向上を図る。

**2 拠点校の種類と内容**

内容		種類	拠点校	
			指定校	推進校
対象校種			中学校及び高等学校	高等学校
位置付け			佐賀国スポを見据え、強化の主軸となる学校として指定	指定校に準ずる学校として指定
推進本部の支援	補助金		佐賀県強化指定校活動支援事業費	
			佐賀国スポ運動部活動等設立及び活動支援事業費	
	その他		競技力の向上を図る上で、推進本部が必要と認めるもの	

**3 選定基準**

国民体育大会・国民スポーツ大会の正式競技に係る運動部を有する、若しくは新設する中学校及び高等学校のうち、次のいずれかの条件を満たす場合に限り、別に定める「佐賀県強化拠点校選定要領」に基づき、推進本部が選定する。

- (1) 競技団体から推薦されている。
- (2) 佐賀県教育委員会が指定する「県立高等学校スポーツ推進指定校」に該当している。
- (3) 「わが町スポーツづくり」を推進又は施策化する会場地市町から推薦されている。
- (4) その他、推進本部が特別に必要と認めるもの。

**4 指定期間**

次に掲げる期間とする。ただし、競技成績や地域性、会場地市町の情勢等により延長又は短縮することがある。

- (1) 平成29年度～平成31年度 ----- 1年間
- (2) 平成32年度～平成35年度 ----- 4年間

## 佐賀県強化拠点校選定要領

### 1 高等学校における強化拠点校

#### (1) 選定枠について

指定校 原則、男女各2校以内

推進校 原則、男女各2校以内

#### (2) 県立高等学校スポーツ推進指定校(特色選抜試験B方式該当校)の取扱い

原則、推進校候補以上として選定

#### (3) 競技団体推薦と高等学校意向の関係

競技団体からの推薦を高等学校に伝え、意向を確認する。

競技団体推薦が有り、高等学校意向も有る ... 指定校又は推進校候補として選定

競技団体推薦が有り、高等学校意向は無い ... 指定校又は推進校候補として不選定

#### (4) 会場地市町推薦の取扱い(平成30年度以降)

会場地市町からの推薦を競技団体に伝え、意向を確認する。

会場地市町推薦が有り、競技団体意向も有る ... (3)に準ずる。

会場地市町推薦が有り、競技団体意向は無い ... 指定校又は推進校候補として不選定

#### (5) 競技力向上対策本部における特別選定

競技団体ヒアリング、学校ヒアリング及び県・市町教育委員会の意向確認により総合的な判断を行い、指定校又は推進校候補の特別選定を行う。

### 2 中学校における強化拠点校

#### (1) 選定枠について

指定校 原則、男女各2校以内

#### (2) 競技団体推薦と中学校等意向の関係

競技団体からの推薦を中学校等に伝え、意向を確認する。

競技団体推薦が有り、中学校等意向も有る ... 指定校候補として選定

競技団体推薦が有り、中学校等意向は無い ... 指定校候補として不選定

#### (3) 会場地市町推薦の取扱い(平成30年度以降)

会場地市町からの推薦を競技団体に伝え、意向を確認する。

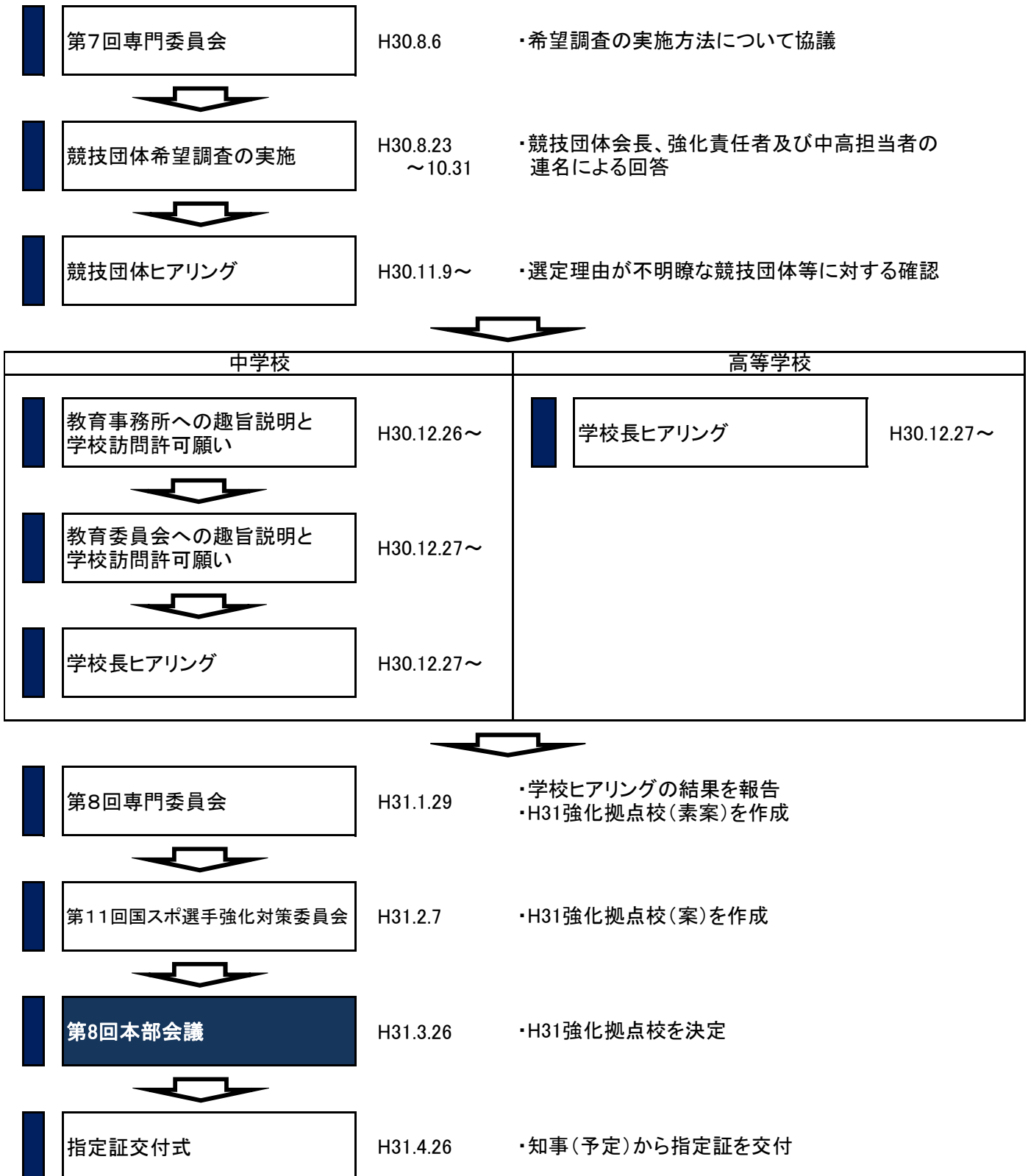
会場地市町推薦が有り、競技団体意向も有る ... (2)に準ずる。

会場地市町推薦が有り、競技団体意向は無い ... 指定校候補として不選定

#### (4) 競技力向上対策本部における特別選定

競技団体ヒアリング、学校ヒアリング及び県・市町教育委員会の意向確認により総合的な判断を行い、指定校候補の特別選定を行う。

## 決定までのスケジュール





## 佐賀県強化拠点地域支援事業 実施要領

## 1 目的

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会佐賀県競技力向上推進本部（以下「推進本部」という。）は、第78回国民スポーツ大会（以下「佐賀国スポ」という。）において、県民の期待に応え、佐賀らしい戦い方で開催県としてふさわしい成績を収めるとともに、大会終了後も安定した競技力が維持されることを目指して、「佐賀県競技力向上基本計画 Ver.1.0」第3章-2-(2)-エに基づき、競技毎に強化を図っていく特定の地域を佐賀県強化拠点地域（以下「拠点地域」という。）に指定し、少年種別選手の競技力の向上を図る。

## 2 拠点地域に対する支援

項目	内容	
強化費の交付	交付先	拠点地域で活動しているクラブチーム。
	対象経費	強化活動に要する経費。
指導者の適正配置	専門性の高い優秀な指導者が、拠点地域内に配置されるよう努める。	

## 3 選定方法

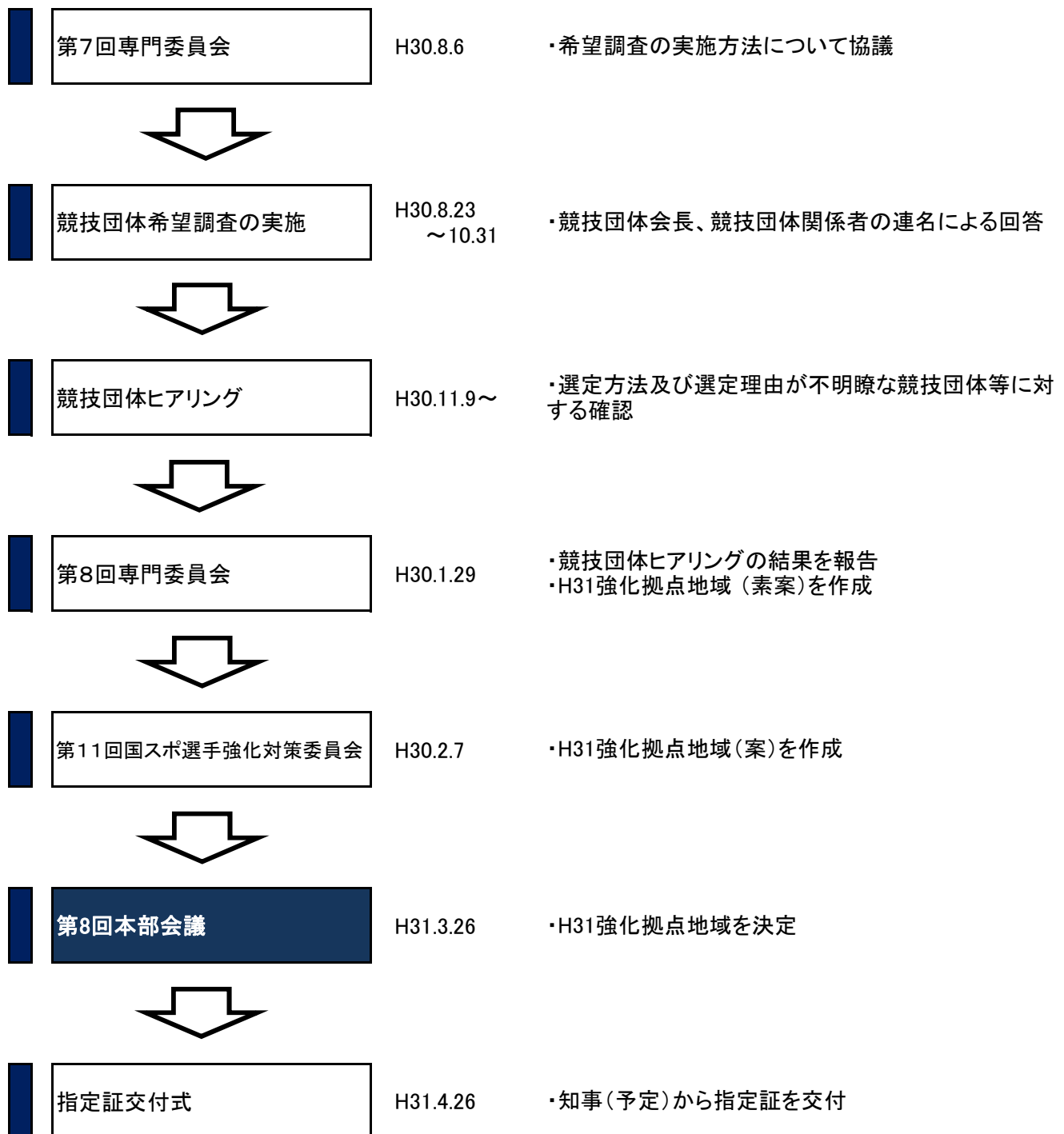
国民体育大会・国民スポーツ大会の正式競技に係るクラブチームを有する地域のうち、当該競技団体の強化を図る意向と合致し、且つ次のいずれかの条件を満たす場合に限り、原則として1競技(種目)につき1地域(クラブチーム)を選定する。

- (1) 中学校に部活動がない競技(種目)の中で、一定の地域を拠点として活動がなされている。
- (2) 「わが町スポーツづくり」を推進又は施策化する会場地市町から推薦されている。
- (3) その他、推進本部が特別に必要と認めるもの。

## 4 指定期間

指定期間は、原則として平成35年度までとする。ただし、競技成績や地域性、会場地市町の情勢等により短縮することがある。

## 決定までのスケジュール



## 決定までのスケジュール



